



大阪から判決結果の連絡が入り厚労省前でも「勝利」の旗出し

大阪高裁で 完封勝利

国に9連勝 メーカーは10社に 一人親方も救済

建設 アスベスト

和解の席に着け

判決日に厚労省前集会

建設アスベスト訴訟は3月14日の東京高裁判決から5カ月余が経ちました。大阪高裁での連弾判決（京都市、大阪ルート）があり、ヤマ場を迎えます。8月31日には京都ルートでの判決があり、首都圏の仲間は8月末だというのに依然として猛暑の続く中、厚生労働省前で集会を開きました。

午後2時50分頃、宣伝カーの上で旗出し。大阪高裁 全面勝訴。「国の責任9たび断罪」「建材メーカーを厳しく断罪」の旗が見事に並びます。司会の統一本部の野本事務局次長が勝利を連呼すると、汗をぬぐいながら判決を待っていたすべての集会参加者の大きな拍手に包まれました。

遺族3人が陳述

東京地裁で2陣24期日

9月7日、首都圏建設アスベスト訴訟・東京2陣第24回の弁論期日が東京地裁103号法廷で開廷し、訴訟の統一本部に結集する原告、弁護団、支援組合の仲間が地裁前で昼休み集会を行いました。

判決日に向けて、一人親方を救済の対象とし、首都圏の原告、弁護団などの発言が続き、判決の連絡を今か今かと待ちました。午後2時50分頃、宣伝カーの上で旗出し。大阪高裁 全面勝訴。「国の責任9たび断罪」「建材メーカーを厳しく断罪」の旗が見事に並びます。司会の統一本部の野本事務局次長が勝利を連呼すると、汗をぬぐいながら判決を待っていたすべての集会参加者の大きな拍手に包まれました。

『主婦の会』が100号 『新企画にも挑戦したい』



100号を掲げる主婦の会の皆さん

2018年9月1日号で、主婦の会の本部機関紙『主婦の会』は100号を迎えることができました。カラー印刷の100号は9月3日に行なわれた主婦の会活動者会議でお披露目されました。現在の教宣部員の杉本さんは、今後の新聞づくりについて「校正作業の度にポイントを学び直せるのが教宣部の醍醐味。チェックミス無くして、新しい企画にも挑戦していきたいです」と話していました。

部・町田分会から独立し、町田支部が結成。その翌年、昭和43年忠生分会が発足。さらにその翌年、東京土建本部の当時の方針により、忠生分会は二つに分かれ、忠生第一分会と名称を変更。また、分かれたもう一方の忠生第二分会とは兄弟分会として、以降お互いに切磋琢磨し、町田支部の発展に貢献してきました。平成24年、町田支部分会再編の際、名称を再び忠生分会に戻し今日に至ります。この時の再編でいくつかの分会は合併、統合しましたが、忠生分会は名称変更のみでした。式典では分会の発展に尽力、貢献した仲間に対し、分会功労者として表彰しました。表彰式では、渋谷支部・町田分会当時から在籍し、分会の発展に、ひとかたならぬ尽力した、坂井進元分会長が代表して表彰されました。午後からは、祝賀会が盛大に行われました。ゲストに都立町田工業高校フラダンス部、歌手の渡辺はる代さん、夢二チャコさんを招き、素晴らしいステージが披露され、大盛況となりました。祝賀会のオトリは、もはや忠生分会では定番となった、天野社会保障対策部長と前田労働対策部長による「あずさ2号」。

「丸の内、良くなったヨ」 8度の宣伝等で一部改善



聞き取りする渡辺副委員長（中）

8月31日午後4時半から、7月13日以来、通算8度目となる丸の内3-2計画現場（元請・大成建設）前での労働環境の改善を求める宣伝行動を行

ない、首都圏の組合の仲間約60人（東京土建は30人）が参加しました。退場する労働者に、飲み物などを渡して、アンケートをしながら現場の状況を聞き取りました。「7月中旬に比べると休憩所にエアコンが入ったり、す

し詰め状態の朝礼・夕礼が緩和されたり、大成社員のパワハラもおさまったりと、かなり良くなった。こうやって皆さんが宣伝してくれたおかげ」と感謝を表す労働者。また「『最悪の現場』だと噂を聞いて入ってみたいら、大したことなかった」と話す労働者に入場時期を尋ねると8月以降と答えがあり、この発言か

声が現場を変える 従事者会議を力に交渉へ

【本部・村松加代子記】第68回大手建設住宅企業交渉が、10月25日、26日を中心に行なわれます。交渉で成果を勝ち取る最大の力は、仲間からの情報です（現場の実態と改善要求）。前回、大成建設との交渉では、現場宣伝・現場賃金調査と仲間から集めた情報で、①新国立競技場現場での賃金調査を実施・年収も公表させた、②現場で見聞き

したことの口外を禁じる「作業所規約」の是正、と大成建設の姿勢を変えさせました。この間組合は、丸の内3-2計画現場で現場前宣伝を重ね、ツイッターを開発してききました。猛暑の中、仲間の休憩所にクーラーが無く、暑くて死にそうだ」という叫びをうけ、仲間の訴えに依って立ち、元請大成建設に改善を強く求めました。その結果、一定の労働環境改善を獲得しました。これも仲間からの具体的な情報があったからこそです。大手建設住宅企業現場の従事者のみなさん、仲間の声が現場を変えるこの事に確信をもち、支部従事者会議に参加し、現場の状況を出し合い、企業交渉で現場改善を勝ち取っていきましょう。

町田・忠生が50周年 歌と踊りで盛大に祝賀会



熱唱する前田さん（左）と天野さん

は、もはや忠生分会では定番となった、天野社会保障対策部長と前田労働対策部長による「あずさ2号」。

町田・忠生が50周年 歌と踊りで盛大に祝賀会

【町田・給排水・清水健通信】8月5日、忠生農協会館にて、忠生分会創立50周年記念式典、ならびに祝賀会が行なわれました。昭和42年、渋谷支部、歌手の渡辺はる代さん、夢二チャコさんを招き、素晴らしいステージが披露され、大盛況となりました。祝賀会のオトリは、もはや忠生分会では定番となった、天野社会保障対策部長と前田労働対策部長による「あずさ2号」。